

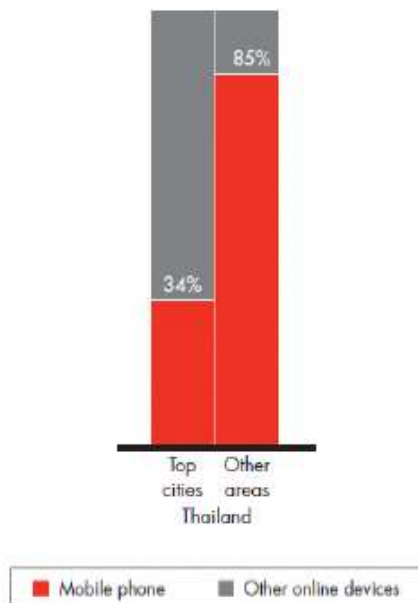
タイの EC 市場について

2018年10月18日(木)～20日(土)ドイツ発祥の有名なIoT・デジタル技術等に関する展示会「CEBIT」が、「CEBIT ASEAN Thailand」としてASEAN地域で初めてタイ・バンコクにて開催されました。タイのデジタル経済社会省と科学技術省の肝いりで誘致された展示会です。

対象となる分野はIoT・デジタル技術全般、データ・クラウド、フィンテック、IoT・スマート技術、サイバーセキュリティ、人工知能(AI)、モビリティ、仮想現実(VR)など多岐にわたります。

今回は、このイベントの中でも関心を集めていたタイのEC市場の現在についてお伝えします。

■タイの EC 市場



出典: Bain Southeast Asia Digital Consumer Survey, November 2015

展示会の中で、タイEC協会会長から、「タイの2017年の電子商取引実績は1500億バーツ(約5,170億円 1バーツ=3.44円)前年比29%増」という発表がありました。タイのECの特徴はSocialMedia(LINE, Facebook, Instagramなど)のシェアが40%を占めるという点です。日本であればおそらくAmazonや楽天、Yahooなどの大手サイトで50%近くを占めているところですが、これはタイのネット普及率によるところが大きいです。2015年の調査ではありますが、オンラインで商品を購入する、あるいは商品のリサーチをする際のデバイスは都市部で34%、郊外では85%の人が携帯電話を使っていると答えています。

売上の上位を占めるのがゲームなどのメディア製品、ついで家電製品、食料品・飲料と続きます。ネットを通じて購入しても品質が変わらないものがやはり人気のようです。

■主な e コマースプレイヤー

<EC モール>

LAZADA <http://www.lazada.co.th/>

タイの主要なオンラインショッピングサイト。不動産、美容商品、生活用品、家電、ファッション雑貨など幅広い商品を取り扱う。シンガポール、マレーシア、インドネシア、ベトナムなど東南アジア各国で展開中。

Kaidee <https://www.kaidee.com/>

タイ国内のアクセス数ランキング Top20 にも入る、CtoC のフリーマーケットサイト。中古車、宝石・アクセサリ、二輪車、モバイル・タブレット、不動産、ファッション・バッグなどが利用上位。

Pan Tip Market <https://www.pantipmarket.com/>

新品と中古の両方を扱う CtoC 及び BtoBtoC のショッピングサイト・取扱商品は車・バイク・電子機器など多様な商品を扱う。

Central Online Shopping <http://www.central.co.th/>

タイのショッピングモール大手のセントラルグループが運営するサイト。

<ネットスーパー>

Big C <https://www.bigc.co.th/>

タイの大手スーパーマーケット Big C が運営するサイト。家電やリビング用品、食料品などを取り扱う。午前 11 時までの注文で翌日配送。

Tops <https://www.tops.co.th/en/>

バンコクに 92 店舗、郊外に 55 店舗を展開する Tops market のオンラインショップ。食料品をはじめ、ワインや美用品、健康関連食品を取り揃えている。注文してから 24 時間以内に配送。

Happy Fresh <https://www.happyfresh.co.th/>

2014 年設立のインドネシア・ジャカルタ生まれのネットスーパー。マレーシアでも既にサービスを開始しており、今後も東南アジアを中心に展開する予定。タイ国内の様々なスーパーと提携しており、自分の好きなスーパーの商品を注文することができる。最短で 1 時間以内に配送可能。

<フードデリバリー>

Foodpanda <https://www.foodpanda.co.th/>

2012 年設立。26 カ国に展開。日本語対応も可能。提携レストラン数 1100 店以上。

LINE MAN <https://www.facebook.com/linemanth/>

フードデリバリーだけでなく、コンビニ商品の配送なども依頼できる。配送サービスは **24 時間** 利用可能。

Grab food ※アプリのみ対応

Taxi や Bike taxi の配車サービスアプリから始まり、現在はフードデリバリーも展開。タイ語メニューが多い。

■EC の配送事情

EC を利用するにあたって、タイの渋滞事情をご存知の方には配送時間は守られるのか？という点は気になる場所だと思われそうですが、概ねで守られていると言えます。というのも、ネットスーパーやフードデリバリーの配送手段はバイクだからです。ある程度の渋滞は回避可能です。

但し、車での配送が必要なものの場合はその限りではありません。通事情が厳しいので日本のようにほぼ守られるということはまだ難しいかもしれません。

EC モールの大手の LAZANA はタイの複数の物流会社、郵便局、自社物流、日系、韓国系、グローバル大手などを使い分けて対応しているようです。なかでも KERRY EXPRESS という 2006 年に創業したタイの物流企業は LAZANA との取引を皮切りに他の人気 EC モールと提携し、急成長を遂げているようです。

タイ EC 協会の会長は E コマースはタイ人にとってエンターテインメントそのものだと講演の中でコメントしていました。自宅でショッピングをして、それが翌日に届く、その経験は今までにない楽しい経験だということです。バンコクは 800 万人以上の人口が集中し主な駅ごとにショッピングモールがあるような場所ですが、少し郊外に出ればそのような光景は見られなくなります。こういった環境において物流が今後改善されていけば、ますます娯楽としての EC は成長していくように思います。

▶ タイ経済指標

項目	単位	2015	2016	2017	2018	
GDP 成長率	前年比ベ(%)	2.8	3.2	3.9	4.3 (1~9月)	
人口*	千人	67,293	67,506	67,697	67,824 (8月)	
労働者の数*	千人	39,165	37,792	37,716	38,391 (9月)	
失業率**	%	0.89	0.99	1.18	1.10 (9月)	
最低賃金*	バンコク チョンブリー アユタヤー ラヨーン	パーツ/日	300	300	310	325 (10月)
			300	300	308	330 (10月)
			300	300	308	320 (10月)
			300	300	308	330 (10月)
賃金：全国製造業の平均	パーツ	12,305	12,402	12,473	12,825(9月)	
インフレ率**	前年比ベ(%)	▲0.90	0.19	0.67	1.14 (9月)	
中央銀行政策金利*	%	1.50	1.50	1.50	1.50 (10月)	
普通貯金率**	%	0.56	0.47	0.47	0.47 (9月)	
ローン金利(MLR) **	%	6.75	6.47	6.35	6.32 (9月)	
SET 指数*	1975年：100	1,288.0	1,542.9	1,753.71	1,669.09 (10月)	
パーツ/100円**	パーツ	28.31	32.53	30.27	29.29 (10月)	
パーツ/米ドル**	パーツ	34.25	35.30	33.9	32.21 (10月)	
円/米ドル**	円	121.0	108.8	112.2	109.91 (10月)	
車販売台数(1月からの累計)	台数	795,905	765,593	869,763	776,178 (9月)	
BOI 認可プロジェクト	件数	2,237	1,688	1,227	1,118 (1~9月)	
BOI 認可プロジェクト金額	10億パーツ	809.4	861.3	625.08	466.51 (1~9月)	

*期末、**平均

[出展：NESDB, BOT, MOL, SET, BOI]

岡山県タイビジネスサポートデスク
Asia Alliance Partner Co.,Ltd.

所在地：1Glas Haus Building,12th Floor and Room 502,5th Floor,Soi sukhumvit 25,
Sukhumvit Rd.,Klongtoey Nua,Wattana,Bangkok 10110 Thailand

担当：三橋 一史 (みはし かずし)

「岡山県タイビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のタイでの事業展開を支援しています（岡山県から [Asia Alliance Partner Co.,Ltd.](#) に業務を委託）。ご利用に当たっては、「岡山県タイビジネスサポートデスク」利用の手引きをご覧のうえ、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#)（電話 086-226-7365）までご相談ください。